

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
クラスタークップ	2019/8/12	JpnIII	盛岡	1200m	ハイペース	良	位置取り

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	イッセイイチダイ	牡7	54	菅原辰	ヴァーミリアン	ミスプロ系	フォーティナイナー	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
2	2	ブルドッグボス	牡7	55	御神本	ダイワメジャー	サンデー系	デインヒル	ノーザン系	D	A	A	B	B	B		
3	3	ショコラブラン	牡7	54	吉原	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	A	B	B	B	B	△2	
	4	シャドウパーティー	セ10	54	高橋悠	King's Best	ミスプロ系	Desert Prince	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
4	5	ノボバカラ	牡7	56	松山	アドマイヤオーラ	サンデー系	フレンチデピュティ	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	▲	
	6	ヒロシゲゴールド	牡4	54	武豊	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ブラックタキシード	サンデー系	B	B	B	A	B	B		
5	7	メイショウオセアン	牡8	54	坂口裕	アグネスデジタル	ミスプロ系	ダンスインザダーク	サンデー系	D	C	D	C	D	D		
	8	ポッドジョイ	牡7	54	高松	マーベラスサンデー	サンデー系	Jade Robbery	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
6	9	コパノキッキング	セ4	55	藤田菜	Spring At Last	ノーザン系	Gole Halo	サンデー系	A	C	B	C	B	B	○	
	10	ヤマニンアンプリメ	牝5	53	岩田	シニスターミニスター	ナスルーラ系	サンデーサイレンス	サンデー系	A	B	B	A	A	B	◎	
7	11	アシャカダイキ	牝5	52	三浦	スマートファルコン	サンデー系	キャプテンスティヴ	ダマスカス系	C	B	B	C	C	B	△3	
	12	ラブバレット	牡8	54	山本聡	ノボジャック	ノーザン系	バブルガムフェロー	サンデー系	C	B	A	B	B	B	△1	
8	13	メイショウアイアン	牡9	54	落合	マヤノトップガン	ロベルト系	デヒア	ノーザン系	C	B	C	C	C	C		
	14	ミスティカル	牡4	54	山本政	シニスターミニスター	ナスルーラ系	ストラヴィンスキー	ノーザン系	D	B	D	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
ヒロシ ヤマニ ノボバ ラブバ ショコ コパノ ブルド メイア メイオ アシャ シャド ポッド イッセ ミステ ハイペース	<p>クラスタークップの最大のポイントはとにかく逃げ、先行勢が強いことだろう。過去3年の3着以内馬9頭はすべて4コーナー3番手以内に位置しており、直線入り口でほぼ大勢が決しているレースになっている。盛岡ダートは他場と比べて時計が速く、特に短距離は惰性で粘り込みやすいのが特徴。クラスタークップでは逃げ、先行勢が上り34秒台でまとめてしまうので、差し、追い込み勢はどんなに強烈な末脚を持っていても前との差をなかなか詰められないのだろう。今年は出遅れ癖を抱えるコパノキッキングの1番人氣が濃厚。隊列を考えると、「4コーナー3番手以内」にいるか怪しく、決してタダ貰いのレースではないだろう。当日の盛岡競馬場は藤田菜七子騎手の重賞初制覇を期待する雰囲気にも包まれそうだが、百戦錬磨のベテラン騎手が競馬の難しさを教える結果になりそうだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はヤマニンアンプリメの重賞連勝に期待する。今年に入ってから馬体重が500キロを超えるようになり、馬自身が明らかにパワーアップ。調教助手のコメントによると、「トモがしっかりとしてきた」ようで、それが近2走のダッシュカにつながっているのだろう。前走北海道スプリントでも楽々と3番手を確保できており、ここは小細工せずに内のヒロシゲゴールドを徹底マークするはず。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	イッセイイチダイ		ダートグレードでは能力が圧倒的に不足している。参加するだけだろう。		
2	2	ブルドッグボス		クラスタースタールは16年2着、17年1着と相性のいいレース。コース適性の高さを考えると怖さはあるものの、前走はソルサリエンテの追撃をなんとか凌いで勝利だった。16~17年ほどのパフォーマンスを発揮するのは難しいのでは。		
3	3	シヨコラブラン	△2	園内の1頭。良くも悪くも一本調子のスピード型で、惰性で粘り込みやすい盛岡ダートは合っているはず。17年クラスタースタールでも見せ場たっぷりの4着に健闘しており、勝ち負けはともかく3着争いなら加わるチャンスはある。		
	4	シャドウパーティー		前走岩鷲賞では勝ち馬ラブバレットから1.7秒も離されての4着。そのラブバレットも通用するか怪しく、ダートグレードでは全く歯が立たないだろう。		
4	5	ノボバカラ	▲	前走北海道スプリントでは内からしぶとく伸びて3着を確保。クラスタースタールは初出走だが、かつて南部杯で逃げて2着に好走したことがあり、惰性競馬になりやすい盛岡のワンターンコースは合っている。逃げるヒロシゲゴールドの1列後ろを確保できれば、最後までバテずに粘り込みそう。		
	6	ヒロシゲゴールド		能力とコース適性だけ考えるならいかにも走りそうだが、直近2走の凡走が気かり。特に前走天王山ステークスは無理な逃げだったとはいえ、直線で抵抗なく後退していた。人気を集めるなら様子見が妥当だろう。		
5	7	メイショウオセアン		前走岩鷲賞では勝ち馬ラブバレットから1.3秒も離されての2着。今回はそのラブバレットも通用するか怪しく、本馬の能力では苦戦必至。		
	8	ポッドジョイ		南関東のB2で掲示板が精いっぱい馬。ダートグレードで通用する器ではない。		
6	9	コパノキッキング	○	前走東京スプリントは内、前が圧倒的に有利な馬場の中、直線でただ1頭外を回って伸びて来ており、文字通り負けて強しの競馬。追われてからトップスピードに乗るまでの時間が速く、4コーナー4、5番手で回ってきても本馬の脚力があれば、少なくとも1、2頭は交わせるだろう。		
	10	ヤマニンアンプリメ	◎	今年に入ってから馬体重が500キロを超えるようになり、馬自身が明らかにパワーアップ。調教助手のコメントによると、「トモがしっかりとしてきた」ようで、それが近2走のダッシュユカにつながっているのだろう。ここは小細工せずに内のヒロシゲゴールドを徹底マークするはず。		
7	11	アシャカダイキ	△3	レース傾向的には厳しいが、前走天保山ステークスは採まれながら最後までしっかりと伸びており、オープンクラスにメドの立つ内容だった。1200mで派手な追い込みを決めたことがあり、前に予想以上に負荷がかかれば、出番がやってくるかもしれない。		
	12	ラブバレット	△1	盛岡ダート1200mでは【4.1.3.0】と複勝率100%を維持しており、クラスタースタールでも15年3着、16年3着、17年2着、18年3着と4年連続で好走中。JRA移籍でリズムを崩していたが、盛岡に再び戻り、近2走がさすがの走り。能力はまだ衰えておらず、5年連続の好走があっても驚けない。		
8	13	メイショウアイアン		2走前の北海道スプリントカップでは勝ち馬ヤマニンアンプリメから0.6秒差の2着に好走。能力的には園内だが、大箱で時計のかかる門別でこそ良さが生きるタイプ。昨年のクラスタースタールは上り3位の脚を繰り出すも6着まで。今年も差し届かず終わりそう。		
	14	ミスティカル		2走前の岩鷲賞では勝ち馬ラブバレットから1.4秒も離されての3着。地元馬相手でも馬券圏内がギリギリで、ダートグレードでは苦戦必至だろう。		